



5月20日(月)
交通事故死ゼロ
を目指す日

春の交通安全

県民総ぐるみ運動



サントリーラグビー部
サンゴリアス
真壁 伸弥 選手
(仙台市出身)

運動の重点

- 子供と高齢者の安全な通行の確保と
高齢運転者の交通事故防止
- 自転車の安全利用の推進
- 全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

2019年5月11日(土)~5月20日(月)

©photo by Aki NAGAO



宮城県警察
ホームページ内の
交通情報のページに
リンクします。

宮城県・宮城県警察・(公社)宮城県トラック協会

春の交通安全

県民総ぐるみ運動



運動の重点

子供と高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止

- ドライバーは、子供やお年寄りを見かけたら、一時停止や徐行など思いやり運転を心がけましょう。
- 学校や地域ぐるみで通園・通学時の交通安全指導や保護・誘導活動を促進しましょう。
- 高齢者は年齢による能力の変化を認識し、慎重な運転、安全な歩行を心がけましょう。また、車の運転に不安を感じたら、運転免許の自主返納を検討しましょう。
- 70歳以上の運転者は車に高齢運転者標識（高齢者マーク）を表示しましょう。
- 夜間の外出には、明るく目立つ色の服装を心がけ、反射材やLEDライト等を有効に活用しましょう。

自転車の安全利用の推進

- 「自転車安全利用五則」を守り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践に努めましょう。
- スマートフォン・イヤホン等を使用しながらの運転はやめましょう。
- 自転車を利用する際はヘルメットを着用し、自転車損害賠償責任保険等にも加入しましょう。

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子供はヘルメットを着用

全ての座席のシートベルトと チャイルドシートの正しい着用の徹底



平成30年中、県内の四輪乗車中の死者は27人。このうち、11人がシートベルトを着用していませんでした。

運転される方は、同乗者にシートベルトの着用を声掛けし、着用を確認してから出発しましょう。

シートベルト着用状況調査結果

対象	全国平均	宮城県	順位
運転席	98.8%	99.3%	9位
助手席	95.9%	97.5%	7位
後部席	38.0%	41.1%	14位

※平成30年10月1日～10日一般道での調査 ※警察庁・日本自動車連盟(JAF)合同調査

過去5年間の宮城県内交通事故発生状況

平成26年～平成30年



交通死亡事故の特徴 平成30年中

1 高齢者の死者が全体の約半数

65歳以上の死者は27人で、全事故死者数の約半数(48.2%)を占めました。

2 高齢者運転者による死亡事故が約3割

全死亡事故に対し高齢者運転者による死亡事故が約3割(29.1%)を占めました。

類型別では、正面衝突や出会い頭による事故が多く発生し、歩行者との衝突や単独事故も発生しています。

3 昼間の発生が約7割

交通死亡事故の昼夜別では、昼間の発生が37件発生し、約7割(67.9%)を占めました。

4 飲酒運転による死亡事故が増加

飲酒運転による死亡事故が5件発生

年代別交通事故死者数



飲酒運転の根絶

酒飲み運転追放3ない運動

- ☑ 運転するときは酒を飲まない
- ☑ 酒を飲んだら運転しない
- ☑ 運転者には酒を出さない



広めて、飲酒運転根絶を

ハンドルキーパー